

大正から令和の人形劇 100 年史、総合芸術・人形劇の多様な魅力を知って、楽しもう
「現代人形劇の 100 年 ～人形劇 もっと！こどもへ、おとなへ、未来へ～」開催

【日時】 2023 年 11 月 25 日(土)13:00～16:00 ※募集締切: 11 月 22 日(水)

【会場】 京都女子大学 図書館交流の床 1 階 ホール ※受講無料・定員 80 名

「現代人形劇の 100 年展」11 月 21 日(火)～30 日(木)開催

【会場】 京都女子大学 図書館交流の床 1 階 ※入場無料

京都女子大学（所在:京都市東山区/学長:竹安 栄子）は、2023 年度後期 公開講座「現代人形劇の 100 年 ～人形劇 もっと！こどもへ、おとなへ、未来へ～」を、2023 年 11 月 25 日（土）13:00 より、京都女子大学図書館交流の床 1 階にて開催します。

この講座の受講者を、2023 年 11 月 22 日（水）まで募集します。また、講座に合わせて、特別展示「現代人形劇の 100 年展」を 2023 年 11 月 21 日（火）～30 日（木）まで開催いたします。

■「現代人形劇」100 年の節目に、人形劇の魅力を再発見し、保育・教育活動に活用される意義を考える。

1923 年に日本の保育現場で演じられた「子どものための人形劇」と、新興芸術家たちが西洋式操り人形で上演した「新興芸術の人形劇」は、人形浄瑠璃のような日本の伝統人形劇に対し、「現代人形劇」と総称されており、2023 年は「現代人形劇」100 年の節目にあたります。講座では、人形劇の今後の発展と市民へのより広い浸透に向け、改めて人形劇の魅力と教育的意義について考えます。

まず、「人形劇の図書館」館長の瀧見英明氏を講師にお迎えして、現代人形劇の 100 年から見えてくる人形劇の魅力について語っていただきます。また、同会場で開催中の「現代人形劇の 100 年展」の展示解説も行っていただく予定です。人形劇・トロッコの主宰でもある瀧見氏は、NHK「おかあさんといっしょ とんでけブッチー(1971 年)」などテレビ人形劇の仕事を手掛けています。

次に本学発達教育学部児童学科 松崎行代教授が、モノ（人形）を用いた演劇である人形劇の特性と子どもの発達の特徴を結び付け、人形劇を観劇する経験を通して子どもにもたらされる心の育ちについて、そして、保育・教育現場で人形劇が活用される意義をお話します。

■「人形劇の図書館」からの貴重なコレクションを特別展示する、「現代人形劇の 100 年展」も開催。



人形劇の図書館 所蔵 国策人形劇で使われた人形

今回の公開講座に合わせ、本学では「現代人形劇の 100 年展」を開催します。

日本で唯一の「人形劇の図書館」は人形劇とその関連図書約 1 万冊、江戸時代・明治時代・昭和の資料数万点を所蔵しています。

その貴重なコレクションの中から、日本に最初にやってきた西洋人形劇の錦絵(多色刷りの木版画浮世絵)、国策人形劇の人形、戦後の人形劇ショーで使われたカルメンの人形、絵本作家の岩崎ちひろが人形劇の様子を表紙と本文挿絵に描いている「ひかりのくに第 20 巻 12 号(1965 年)」など、50 点以上が特別展示されます。

【報道関係のお問い合わせ先】

京都女子大学広報デスク（プランニング・ボート内）福嶋・小宮 TEL：06-4391-7156

京都女子大学 入試広報課 北山・堀川・竹縄 TEL：075-531-7054

＜一般の方からのお問い合わせ先＞

京都女子大学 学術研究支援部 連携推進課 TEL：075-531-7080 r-suishin@kyoto-wu.ac.jp

京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>

※会場準備の都合上、ご取材いただける方は、取材日の前日までに添付の返信用紙もしくはメール・お電話にて上記広報デスクまでご連絡願います。

開催概要

《公開講座》

- 名 称 現代人形劇の100年 ～人形劇 もっと！こどもへ、おとなへ、未来へ～
- 日 時 2023年11月25日（土）13:00～16:00（受付開始12:30）
- 会 場 京都女子大学 図書館交流の床1階 ホール（※京都女子大学図書館は、大学正門の向かい側）
（京都市東山区今熊野北日吉町35）
・JR・近鉄「京都」駅から、市バス206系統・208系統で約10分、
「東山七条」で下車し、東へ徒歩約5分。
・京都駅八条口から、プリンセスラインバスで約10分、「京都女子大学前」で下車。
・京阪「七条」駅から、プリンセスラインバスで約5分、「京都女子大学前」で下車。
- 主 催 京都女子大学
- スケジュール
- 講座1（13:00～14:30）
「現代人形劇の100年から見えてくる人形劇の魅力」
講師：人形劇の図書館館長／人形劇・トロッコ主宰 湯見 英明
・人形劇の様々な楽しみ方を知っていただくために、上演と観劇だけでなく、展示
や人形制作、舞台美術など人形劇の持つ魅力を幅広く紹介します。
・「現代人形劇の100年展」の展示解説も予定。
- 講座2（14:30～16:00）
「人形劇が子どもにもたらすもの」
講師：京都女子大学 発達教育学部 児童学科 教授 松崎 行代
・モノ（人形）を用いた演劇である人形劇の特性と、子どもの発達から、子どもと人形劇はなぜ相性がいいのか、子どもはなぜ人形劇が好きかをお話します。
そして、人形劇の観劇、そして、観劇後に生じる人形を用いて演じて遊ぶ活動を通して、子どもにもたらされる心の育ちについてもお話します。
- 受講料 無料
- 定 員 先着80名
- 申し込み 1. インターネットでのお申込み（以下のURLの申し込みフォームから）
https://www.kyoto-wu.ac.jp/shakai/koza/copy_of_kyojo_koukaikouzazenki2023.html
2. 電話でのお申込み（京都女子大学U校舎分室 月～金 9:30～16:00）
TEL: 075-531-7135
- 申込締切 2023年11月22日（水）17:00

《特別展示》

- 名 称 現代人形劇の100年展
- 期 間 2023年11月21日（火）～30日（木）10:00～16:30
※11月25日（土）・26日（日）は休館
- 場 所 京都女子大学 図書館交流の床1階
- そ の 他 入場無料



人形劇の図書館 所蔵
現代人形劇の嚆矢「人形座」の流れを引く
「大阪人形座」の人形「カルメン」

《湯見 英明 プロフィール》

「人形劇の図書館」館長／「人形劇・トロッコ」主宰
1948年、京都生まれ。1971年に「トロッコ人形劇場」を創立し、(1975年～人形劇・トロッコ)50年以上、日本国内のみならず世界16ヵ国100万人以上の子どもたちを中心にファンタジーを届けている。
1984年にUNIMA評議員に選出され第15回大会(日本開催)の担当、1986年からUNIMA第15回大会・88世界人形劇フェス組織委員会事務局次長を務める。また、人形劇研究者として、1991年から「人形劇の図書館」を開設している。2005年に文楽世界無形遺産登録記念大阪国際人形劇フェス実行委員、2008年に国立劇場文化デジタルライブラリー『民俗芸能・人形芝居』監修、2013年に『人形劇図書資料目録』刊行、2019年に『日本人形玩具大辞典』編集委員も務めた。

【返信先】FAX:06-4393-8216 もしくは、komiya@planning-boat.com

京都女子大学 広報デスク（プランニング・ボート内） 福嶋・小宮 宛

大正から令和の人形劇 100 年史、総合芸術・人形劇の多様な魅力を知って、楽しもう
「現代人形劇の 100 年 ～人形劇 もっと！こどもへ、おとなへ、未来へ～」開催

【日時】2023 年 11 月 25 日(土)13:00～16:00 ※募集締切：11 月 22 日(水)

【会場】京都女子大学 図書館交流の床 1 階 ホール ※受講無料・定員 80 名

「現代人形劇の 100 年展」11 月 21 日(火)～30 日(木)開催

【会場】京都女子大学 図書館交流の床 1 階 ※入場無料

☐ ご取材 _____ 月 _____ 日 _____ 時頃～

媒体名		
貴社名		
部署名		
ご芳名	他 _____ 名様	
連絡先	TEL _____	Mail _____
当日のご連絡先	TEL _____	
ご出席人数	計 _____ 名様	
	(ムービー) _____ 台 /	(スチール) _____ 台
《備考欄》 ご要望・ご質問等ございましたら、ご記入をお願いします。		

※ご取材にお越しいただける方は、取材日の前日までに FAX 返信用紙にてご連絡願います。